

Newsletter

特集 カウンシル No.8 第 21 期 (2010~2011) 第 2 回会合

「地域社会への発信」

Extend POWERtalk to our Community

2011年5月8日(日) 10:30~16:00

会場 東京ウィメンズプラザ・ホール

カウンシル No.8 第 21 期会長 小菅あけみ SC. Fellow of ITC

3月11日の東日本大震災は日本を大きく変えました。

心痛む震災報道の一方で、海外からのメッセージや支援活動は地球規模で人間の温かさを伝えてくれます。私たちも被災地で支援活動が続けている盛岡クラブのメンバーを通して出来ることを応援していきたいと思います。

震災の影響で4月の予定だった第二回会合を、皆様のご協力で一ヵ月後に開くことができ、普段と違ったコミュニケーションの勉強をしました。2回の会合を通して、カウンシルのチームの力を実感しました。役員として、また会長としての貴重な経験をさせて頂き、メンバーの皆さまのご協力に感謝申し上げます。評価を通して共に成長する ITC は、どのレベルでも常に新鮮な驚きと創造性をかきたててくれます。



今期は PREM に力を入れて来ました。成果はまだ数には表れてこないものの、種まきを経て来期に必ず成長すると、確信しています。4月にリージョン PREM 委員会主催の座談会で、高濱黄太先生(R大会講師)による ITC 分析を伺いました。私たちの考えている ITC の魅力が地域に本当に伝わっているのか、また外部は ITC をどうみているのかを見直す事が必要だと学ぶことができました。

今期は新しい試みをたくさん取り入れましたが、これからも若い世代に引き継いでいくことができるよう、共に学んでいきましょう。

カウンスル 8 第 2 回会合は、東日本大震災により 1 ヶ月遅れとなった 5 月 8 日、東京ウィメンズプラザ・ホールで、小菅あけみ会長を議長として会員 86 名、ゲスト 9 名出席のもと開催されました。冒頭、会長から被災地へのお見舞いが述べられ、ビジネスに入りました。

ビジネスでは、増井美恵子 PREM 委員長から、先のキャッチコピー募集に対し、140 件の応募があり、金賞は「おしゃべり」が「話す」に変わる ITC > にとの報告がありました。これが委員長自身の作品だった為、あくまでフェアな審査だったこと、寝ても覚めてもひたすら考え続けた舞台裏を披露され、会場は和やかな笑いとその熱意への敬意に包まれました。入選作は以下の通り。

- ・あなたの世界が広がる
- ・「話し上手」「聞き上手」「伝え上手」になれる
- ・自分磨きは ITC で
- ・一人ひとりがそれぞれ素敵、それが魅力の ITC
- ・口下手も ITC に入ればスピーチ上手

これらのキャッチコピーを入れたリーフレットが作成されましたので、十分活用して下さい。

引き続きビジネスでは、特別予定議事が 2 題審議されました。

1 題目の会則修正審議では

修正案 1 第 6 条 6.3.2 現行；カウンスル会長候補者は、以前カウンスルの役職を最低 1 度経験した者であること。役職を削除し、選出役員、任命役員又は常任委員長を挿入。賛成 11 反対 1 で可決。

修正案 2 常規 8 「...会則 13 条に定める...」の 13 を削除し 12 を挿入する。
総意を以って採択された。

続く 2 題目は次期役員選挙で、柴田ひさ指名委員長が提出した次期役員名簿に追加指名は無く、口頭採決が行われ、次期役員に 5 名が選出されました。

会長	寺西キヌ子（アクア千葉）	書記	山口久美子（葎崎）
第一副会長	佐野千賀子（東京）	会計	瀧澤 孝子（彩玉）
第二副会長	宮田 誠一（サンデー）		

寺西次期会長からは、震災を経験した今だからこそ皆で助け合う気持ちを大切に、次期テーマを「共に歩む」にしたとのお話がありました。

審議終了後、小菅会長が、盛岡クラブ平野ユキ子さんからの最新の現地報告を紹介し、スクリーンに被災地の映像が写し出されると、会場は一転沈鬱な空気に包まれました。復旧ままならない中、盛岡クラブの森恵美子さんが派遣員兼コンテスタントとしてただひとり出席され、お役目を果たされたことに頭が下がる思いがします。会計は義捐金箱を掲げて、協力を呼びかけていました。

8 会員皆の思いが少しでも被災地に届くことを願っています。



（文責 編集）

ITC カウンシル No.8 第 21 期 スピーチコンテスト

5月8日カウンシル会合午後の部はスピーチコンテストが行われました。

英語の部 優勝 大屋奈々(セントラル) 2位 宮崎ひろ子(柏)

日本語の部 優勝 山口久美子(蕪崎) 2位 江利川富江 3位 菊池秀子(アクア千葉)

優勝者に今回スピーチに至るきっかけ、1か月延期になって努力されたことなどを、お聞きしました。

英語の部 優勝 大屋奈々 “Between We and I”

スピーチにふさわしい前向きなメッセージが思いつかず、クラブでは他人の長スピーチを揶揄する話でお茶を濁したけれど、カウンシルで同じ話をする気になれなくて、全く別の論題に変えました。

記憶の引き出しの中から題材を見つけ、あらすじは頭の中で組み立ててはいましたが、ぎりぎりまで取りかかれず、会合の三日前にやっと完成し練習をしました。私の場合、英語力も発音も大したことはないの、言葉だけではだめ。「聞いて下さる方に分かりやすく」を第一に考え、文は簡単で短く、動作も工夫し、眼に浮かぶようにと心がけました。

コンテストではジャッジに、「間を取るように」とコメントされ、練習不足を反省しました。



英語の部 出場者

左から 椎名恵子、大屋奈々(筆者)、松岡美保
宮崎ひろ子 (敬称略)

日本語の部 優勝 山口久美子 「勇気を出して」



日本語の部 出場者

左から 菊池秀子、佐野千賀子、江利川富江、
森恵美子、山口久美子(筆者)、田村純子
(敬称略)

あの時、思いも掛けない出来事に遭遇して、気持ちが悪転しましたが、今の世の中、希薄になっている人情を大切にしたいと思いました。このお話を通して、是非みんなに勇気を出すことの大切さを知っていただきたいと思いました。

コンテストが一ヶ月延期となったので、伝えたいという気持ちを高めておくことと体調管理を心がけていました。心身共に万全の態勢で臨みたいと思っていました。

原稿作成に関わっても、友人たちに読んでいただいたりして推敲を重ね、忘れないように絶えず原稿を読み上げていました。今回の優勝は、友人たちのお力によるものが大きかったです。今は、すっかり気が抜けたせいか、風邪をひいてしまって、喉が痛いです。

クラブお勧めプログラム紹介

彩玉クラブ 公開ワークショップ

リーダーあつまれ！「スムーズな事務会議を目指して 皆で語ろう！」

プログラムは解説付きのビジネスから始まり、会員代表スピーチ、リーダーの10カ条、グループ討議、発表、リーダーの悩み、心得の意見交換、サイコロトーク、各種団体1分間PRタイムなど、すべてのゲストに1分間と限定して発表して頂きました。

良かった点：事務会議は慣れている方が多く、真剣に聞いてくださり、毎月行われる会計報告に関してはきちんとした会ですなと共感してくれる方もいらっしゃいました。会社代表・その他の団体のリーダーであるゲストのそれぞれ、大変活発なご意見、発表、スピーチを聞いて、私たちのクラブももっと地域社会との交流を持って勉強すべきだと思いました。

増井美恵子

横浜クラブ

留学生の日本語によるスピーチ

2名の留学生が3つのスピーチを行った後、質疑応答した。

まず中国出身の温君寧さんが、論題「夢をかなえましょう」で鼓舞するスピーチ、そして2回目のスピーチ論題「山より海よりも」で意見スピーチ、サウジアラビア出身のアルマズヤッド・オスマンさんが論題「成功の鍵」で、鼓舞するスピーチを行った。

良かった点：スピーカーがよかった。2人とも内容、構成、発声、非言語的アプローチに優れ、聴衆を魅了した。外国語である日本語でスピーチをしているのを忘れるほど内容に引き込まれた。特に「山よりも海よりも」は会場から「子供に聞かせたかった」という感想がでるほど、今の日本人の若者には感じられない親への愛に溢れ、聴衆は涙を流しながら聞き入っていた。

斉木ゆかり

東葛クラブ

「いつまでも若々しくいるために！！」無理せずできるアンチエイジング

「本当の年齢の出し方」ワークシートを使い、各個人の現在の心と体の年齢をだし、その年齢より10歳若返るにはどんなことを普段の生活で改善し、また心がけたらよいか。確実にできる小さなことを見つけ出す作業を行った。

良かった点：誰にも関心のあるアンチエイジングは高いエステ代がかかると思っていましたが、日常生活のささやかなチェンジで維持できるというお話を聞き嬉しくなりました。

渡邊友子

東京クラブ

インタビュー コンテスト

事前に4人のインタビュアーを決め、当日クジで引き当てた相手にインタビューして、どのカップルが一番アピールしたかを競う。1位には賞品が出た。

良かった点：1対1のコミュニケーションの勉強になった。また、インタビューのみならず、壇上の態度などのプレゼンテーションも学ぶことができた。会員の知らないことまで引き出せたインタビューには、思わず拍手、笑いも出て親交が図れた。

嶋田凱子

青山クラブ

映画鑑賞 アメリカ映画「私の中のあなた」原作 ジョディー ピコー

白血病の少女をめぐる家族愛の物語(ベストセラー)で彼女の闘病生活を支える家族の涙ぐましい努力が描かれ、この白血病の姉を助けるために生まれてきた妹が主人公です。姉を救うためのドナーということで例会での話し合いも非常に活発に行われました。

良かった点:日本では昨年7月に臓器移植法が改正され、臓器移植が次々と行われたので、この映画を取り上げたことは話題として適当でした。

野村郁子

東京セントラル

防衛省市ヶ谷駐屯地ツアー

極東国際軍事裁判の場であり、三島事件の場であった防衛省市ヶ谷駐屯地を見学した。

良かった点:被災地支援に大きな役割を果たしている自衛隊の本部で、大型輸送ヘリの離発着も見る事が出来、また、的を射た案内で歴史的にも勉強になった。

山本 真理

筑波クラブ

英語で俳句

準備に3カ月をかけ、パワーポイント、手書き掲示物などもりだくさんで、最初に世界の子供たちの俳句を楽しんだ後、自分たちで作った俳句を鑑賞し、作者を当てるクイズも楽しみました。

良かった点:10年ほど前に土浦の花月楼でクリスマス会をしたときにも俳句を作ったことがありましたが、今回はさらに進歩して、だてに年は取っていないことを内心嬉しく感じました。

松岡美保

サンデークラブ

ドラッカー関連書籍のブック・レビュー

20世紀の知の巨人ドラッカーを取り上げ、今変革を求められている日本社会や、ITCを含むNPOの改革を考えた。彼の著書のみならず、彼の言葉が散りばめられ、入門書ともなる、通称「若しドラ」、昨年のベストセラーの「高校野球の女子マネージャーが若しドラッカーのマネジメントを読んだら」も取り上げ、取っつきにくさを和らげる効果を上げた。ドラッカーのマネジメントはNPOにも適用できる事が分かる。

白垣駿一

アクア千葉クラブ

アクア流初春句会 第3弾

講師をお招きし「ミニ句会」を行いました。投句、披講と続き、特選の弁では作者の意を選者が十分に読み取り、大いに盛り上がりました。「作者は語らず」という講師の説明が印象的でした。

特選の句を、ご披露いたします。「柿のれん くぐりて祖母は 笑みをみせ」

和田正枝

編集後記；寄稿をお願いすると、会員の皆様はいつも熱意を持って、内容の濃い記事を送って下さいました、温かいご協力と、励ましのお言葉、心から感謝しております。(M.E)